



政策方針 24 POLICY

あらゆる場所で緑を感じられる 都市をつくる

東京の緑を、総量としてこれ以上減らさない。これを大きな原則として、
今ある貴重な緑を守り、あらゆる場所に新たな緑を創出します。

また、緑が都市の基盤となり、緑あふれ季節を問わず快適に過ごすことが
できる都市空間を形成するとともに、生物多様性にも配慮した緑の積極
的な創出や豊かな自然環境の保全・再生・活用を進めます。

取組 1 INITIATIVE >

貴重な緑を守り、活発な都市活動と 豊かな生態系を両立する

都市の中で貴重な自然が保全され、
引き継がれている

- 「がい崖線の風景育成地区(仮称)」を定め、都市公園*の整備
や特別緑地保全地区*、市民緑地制度*などを活用した区
市町村の崖線保全の取組を支援します。
- 崖線を含む区域における開発に際し、崖線部分の容積率
を隣接する平地へ移転するなど、新たなスキームの構築に
より崖線の風景を保全し緑の確保を図ります。
(例:南北崖線沿いなど)
- 水鳥の飛来地や動植物の生息・生育空間となっている干
潟や里山の自然保全の取組を進めます。
(例:葛西海浜公園、東京港野鳥公園、横沢入里山保全地
域など)
- 丘陵地の自然を保全するとともに自然の大切さを体験で
きるよう、丘陵地公園*の整備を進めます。

まとまった農地が保全され
効果的に利用されている

- 都市計画道路の整備に併せて、細分化された農地や遊休
農地、空き家の除却等により増加が見込まれる空き地など
を換地手法等により集約することで、まとまった農地として
保全を図ります。
- 土地区画整理事業を施行すべき区域*においても、農地等
の緑を適切に保全しながらまちづくりを進めます。
- 大規模開発に際し、遠隔地における農地の保全を評価する
スキームを検討します。
- 農地の保全や意欲のある担い手の確保に対して効果が高
い、相続税納税猶予制度*の適用拡大や貸借制度*の拡大
について引き続き国へ要求します。
- 緑化地域制度*の活用等により計画的な開発を誘導し、農
地が宅地化される場合においても、美しい風景や良好な
住環境を確保するとともに、緑の減少を抑制します。

季節を問わず、
快適に過ごすことができる

- 先進的な環境技術の導入によるヒートアイランド対策を推進します（例：屋上緑化や壁面緑化、遮熱性舗装、微細ミストなど）。
- 人々を魅了する美しい緑につつまれた都市東京の実現を図るため、緑とともに花で彩る都市空間を創出します。
- 道路整備等に併せ、連続した緑陰による快適な歩行者空間の形成を図ります。
- 農の風景育成地区や市民緑地制度の活用により、農地と一体化する屋敷林や地域のシンボルとなる樹林地を保全する取組を支援します。

生物多様性に配慮したまちが
人々に潤いを与えている

- 開発の機会を捉え、緑化計画書制度*を活用した在来種植栽や、生態系に寄与する既存樹木の保存を推進するなど、生物多様性に配慮した緑地を創出します。
- 都市公園・自然公園などを多様な生物が生息・生育できるエコロジカル・ネットワーク*の拠点にするとともに、動植物園とも連携し生物多様性の保全、普及啓発を進めます。

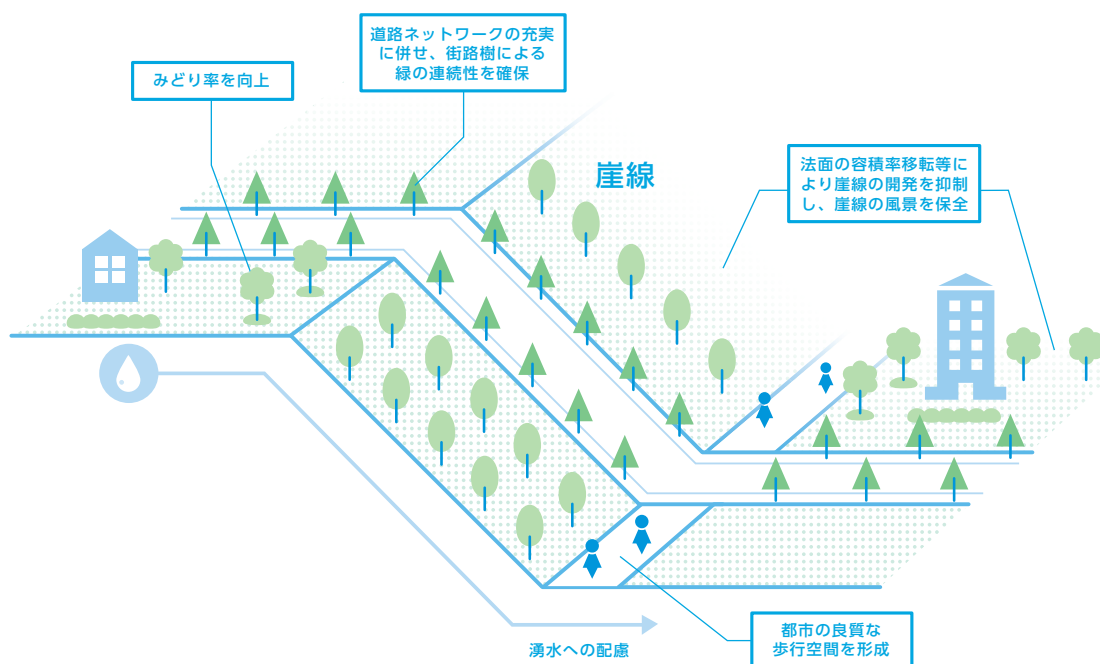
- 都立公園等の都市計画公園*を着実に事業化することなどにより、緑と水によるエコロジカル・ネットワークを形成し、ヒト・生物・環境にやさしい緑と水の質・量をともに確保します。
- 生物多様性に配慮した東京産の地域性苗木の生産を進めます。
- 自然体験を通じて都民が広く生物多様性について学べるよう、都市公園や海上公園*、自然公園などにおいて、環境学習に役立つ施設を確保します。

保全地域の例



あきる野市 横沢入里山保全地域

緑の崖線軸の形成イメージ



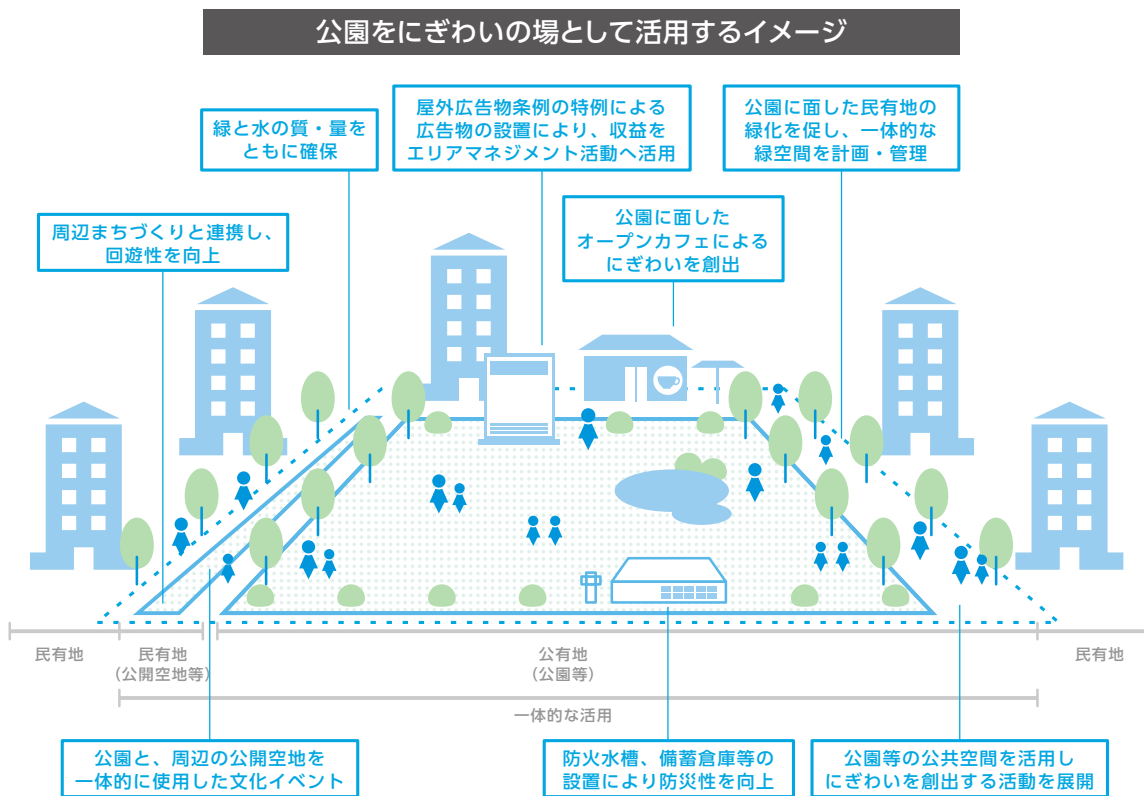


プロジェクト型の都市づくりのイメージ

複数の戦略や政策方針にまたがる分野横断的な課題を同時に解決できるようなテーマについて、様々なプロジェクトとして取り組みます。

緑・都市農地の保全・活用

公園や緑地、庭園などの豊富な資源を都市の中で十分生かしていくことが求められています。今後は、公園の機能ができるだけまちの中にも浸み出すよう周辺の民有地等との協調に取り組み、公共空間と民有空間が一体となったゆとりのある良質な都市空間を創出していきます。



先進事例

- 公園内のカフェと、一面の芝生敷きが特徴の公園(豊島区 南池袋公園) (左)
- イベントの開催でにぎわう公園(アメリカ ブライアントパーク) (右)



(画像提供) kmiragaya©123RF.com

プロジェクト型の都市づくりの詳細については第7章をご参照ください

あらゆる場所に新たな緑を創出し、快適な都市空間を形成する

緑や公園がまちに^と融け込み、
潤いあふれるまちとなっている

- 都市公園等の整備を進めるとともに、公園周辺の開発に際し公園側の緑化を促すなど、公共空間と民有空間とが一体となった緑を創出します。
- 都市公園等と周辺のまちづくりが連携して、その地域のにぎわいや回遊性、緑の連続性、防災機能の向上を図ることで、地域の価値を高めます。
- 都市公園等の成り立ちや利用状況に加え、歴史、自然などの地域資源を踏まえ、個性・特性を生かした活用を推進します。
- 公園まちづくり制度*の活用を進め、開発に併せて公園的空間や緑地の整備を誘導します。
- 開発の機会を捉え、その地域の持つ歴史やかつての風景を意識しながら、新たな緑や水辺の創出を図ります。
- 建築物の新築や増改築などに併せて、緑化計画書制度を活用するとともに、緑化地域の都内全域での指定を目指すことで、民有地にも緑の創出を誘導します。
- 道路や河川などの公共空間と公開空地の一体的な利用を、総合設計*や再開発事業などの設計の段階から想定し、周辺との連続性を持った空間形成を誘導します。
- 社会状況の変化に伴う諸課題に対応しつつ、公園の魅力や価値を向上させ、東京をより魅力的にしていいため、公園が潜在的に有する多面的な機能を様々なニーズに対応して一層発揮させることで、そのストック効果を高めます。
- 空き家の除却により活用が見込まれる空き地や土地所有者から買収の申し出があった生産緑地などについて、換地手法等を用いて都市計画公園の整備を促進します。
- 土地区画整理事業を施行すべき区域では、地域の特性に応じて、土地区画整理事業や緑化率を定める地区計画、緑化地域制度などを活用し、緑あふれる市街地の形成を誘導します。
- 市民緑地制度を活用し、屋敷林の保全や公園と同等の空間を創出する取組を促進します。

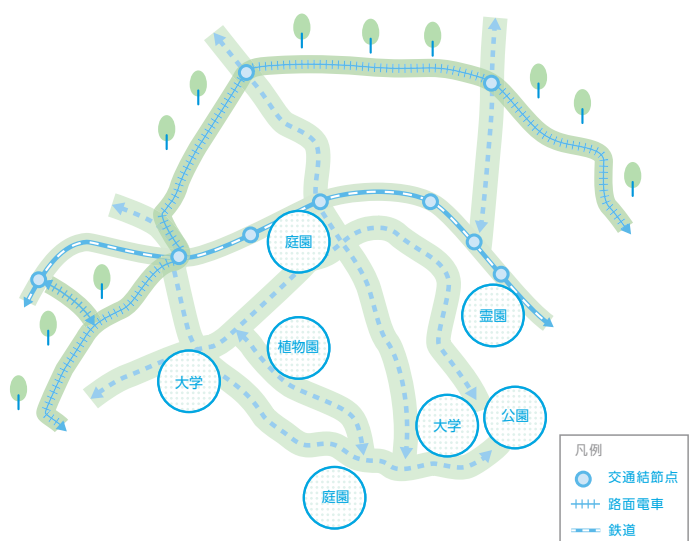
駅や生活の中心地から離れた場所が
緑に戻っている

- 駅や生活の中心地から離れた地域では、緑化地域の指定等により、将来的に緑豊かで良質な環境の形成を誘導します。
- 住宅市街地であった地域の一部は、立地適正化計画等を活用し、緑地や農地などへの転換を誘導します。

緑のつながりの中で歩きながら
潤いを感じている

- 区部中心部の大規模な緑と開発により生み出される緑がつながるよう誘導し、潤い豊かな都市空間を創出します。
- 駅から公園等までの歩道や公開空地の緑化、都電等の軌道内緑化*などにより、様々な主体が連携して緑を感じながら回遊できる都市空間を形成します。
- 河川・運河など水辺空間の緑化を進め、都市公園や街路樹などと有機的に緑をつなげることで、水と緑のネットワークを更に充実していきます。
- 木造住宅密集地域の解消や老朽空き家の除却、公園周辺などの開発の機会に併せ、連続した緑地やポケットパークの整備を促進します。
- 道路整備や河川改修と併せた公園・緑地の整備や周辺の敷地の緑化を誘導する事で、厚みのある緑のネットワークを形成します。
- 地域の状況やニーズに応じて河川沿いの都市計画公園・緑地の整備を進めるとともに、都市開発諸制度等の活用により、開発により生まれる緑と、河川沿いの緑が一体化されるよう誘導します。
- 住宅地においても、敷地内の生け垣の設置や屋上・壁面の緑化により、宅地周りの小さな緑を連続させ、潤いある景観を誘導します。

緑を感じながら回遊できる都市空間のイメージ





取組3 INITIATIVE

山間部・島しょ部の独自の魅力を
磨き上げ活力を高める

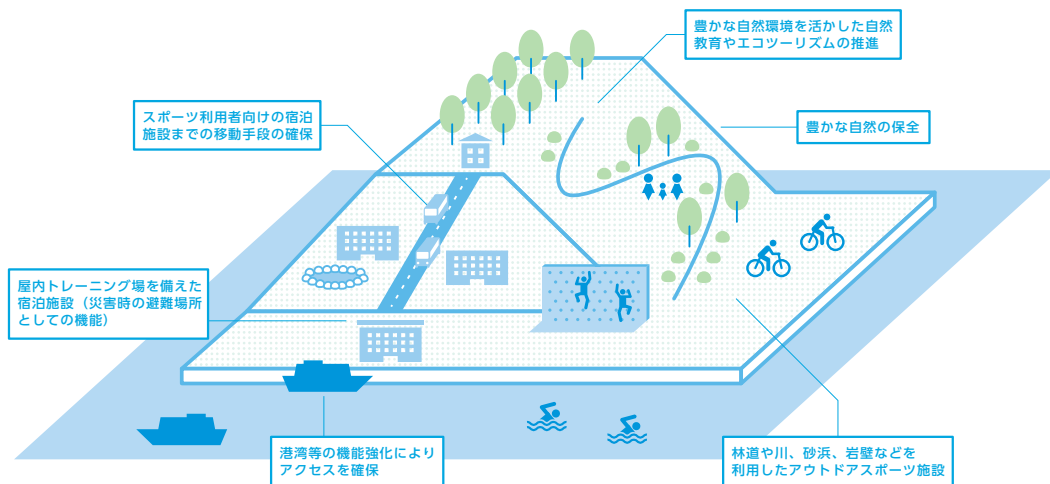
山間部、島しょ部などの自然を守り、
魅力と活力を高める

- 良好な自然地や歴史的遺産と一体になった樹林などを保全地域として定め、丘陵地に残る里山や樹林地など都内に残された貴重な自然環境の保全を図ります。
- 開発許可制度を的確に運用し、開発で損なわれる自然を最小限にとどめるよう誘導します。
- 関係機関が連携し自然を保全しながら、滞在施設やアクセス、通信環境などの確保を図ります。
- 自然公園等において、エコツーリズムや自然を生かしたスポーツを楽しめる環境を実現しつつ、ガイド・インストラクターの育成を促進します。

地域の「宝物」が発掘され
磨き上げられている

- 景観や海洋資源、特産品など、島しょ部の「宝物」を掘り起し、一層磨きをかけ、広く発信していく取組を進めます。
- 島しょ部の観光振興に向け、島同士が競い合いながら誘客を工夫する取組を支援します。

山間部・島しょ部でのスポーツ環境の実現イメージ



産業の一翼を担い活力を 生み出す都市農業を育成する

生産の場であることに加え防災や環境面でも重要な役割を持つという視点から、農地を保全するとともに、農空間を都市の中の魅力のある貴重な資源として活用することで、一大消費地を抱える東京の特性を生かして様々な付加価値をもたらす都市農業を展開します。

取組1 INITIATIVE

農地を保全し、 次世代に引き継ぐ

農地が都市計画に位置付けられ、
適切に継承されている

- 田園住居地域や生産緑地制度などを活用し、農地を都市にあるべき機能として都市計画に位置付けます。

農地をにぎわい空間として
活用している

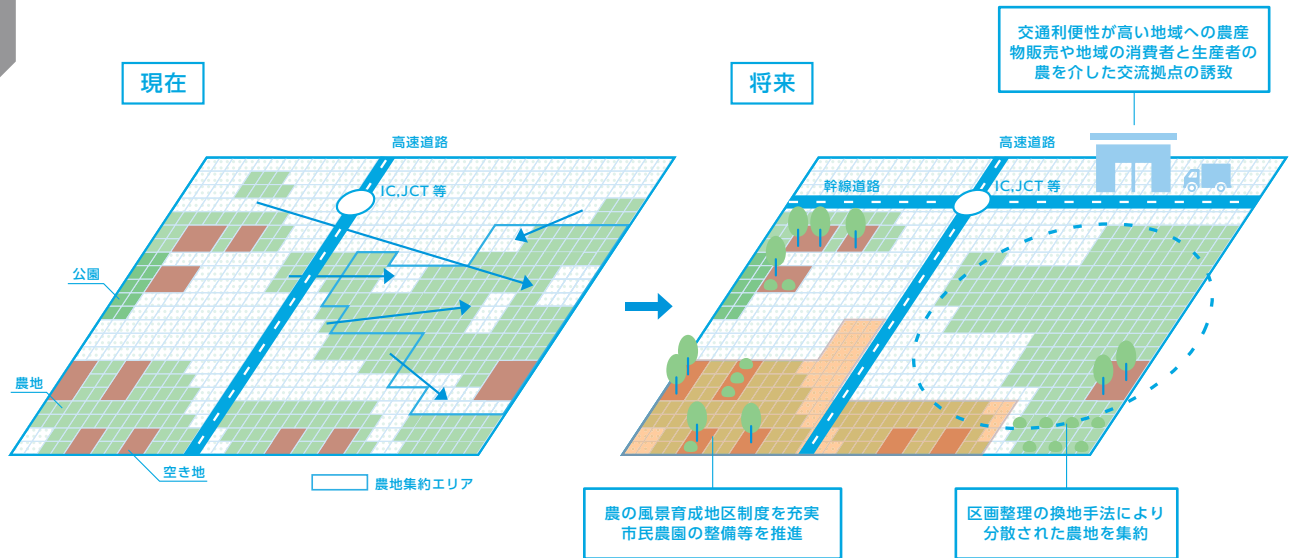
- 田園住居地域を活用し、農地周辺における直売所や農家レストランなどの立地を誘導します。
- 生産緑地については、買取り申出を見据え、都市計画公園・緑地に位置付けるほか、区市町による農地の公有地化などにより、市民農園等としての利用を進めます。

まとまった農地が保全され
効果的に利用されている（再掲）

- 都市計画道路の整備に併せて、細分化された農地や遊休農地、空き家の除却等により増加が見込まれる空き地などを換地手法等により集約することで、まとまった農地として保全を図ります。
- 土地区画整理事業を施行すべき区域においても、農地等の緑を適切に保全しながらまちづくりを進めます。
- 大規模開発に際し、遠隔地における農地の保全を評価するスキームを検討します。
- 農地の保全や意欲のある担い手の確保に対して効果が高い、相続税納税猶予制度の適用拡大や貸借制度の拡大について引き続き国へ要求します。
- 緑化地域制度の活用等により計画的な開発を誘導し、農地が宅地化される場合においても、美しい風景や良好な住環境を確保するとともに、緑の減少を抑制します。



都市農地の保全に向けた取組イメージ



取組2 INITIATIVE

新鮮な都内の農産物を
ブランド化して発信する

新鮮な農産物がスピーディに
消費者に届いている

- アクセスしやすい農地周辺に加え、農地が少ない区部中心部等の地域においても農産物直売所等のにぎわい施設を整備することで、消費者と生産者の農を介した交流の拠点を整備します(例:高速道路インターチェンジ周辺など)。

世界に誇る品質の高い農産物が
東京ブランドとして発信されている

- 先端技術を活用し、品質の高い農産物を効率的に育てるスマート農業を促進します。
- 大消費地との近接性や商工業の集積などの立地条件を生かし、加工業者や販売業者など、異業種と連携した6次産業化*を推進します。

鉄道の高架下に設置された植物工場の例



東京の牧場の例



あきる野市 (画像提供) 協同乳業株式会社

都市の魅力を上昇する 農空間を生み出す

農地があらゆる角度から
多面的に使われている

●都市農地への農業体験施設や防災兼用の農業用井戸等の整備により、環境・防災機能を持ったにぎわいを創出する空間としての活用を図ります。

都市部にも農空間が
あふれている

- 開発等の機会を捉えた屋上菜園や遊休施設の農地化により、都市の中にも農空間の充実を図ります。
- 農のある風景を将来に継承するため、農の風景育成地区の指定を促進します。
- 先端的な農業技術も取り入れ、重層的に活用された農空間の創出を図ります。

レストランが併設された農園の例



板橋区

農業体験のイメージ



水辺を楽しめる都市空間を創出する

水辺を生かして都市生活にゆとりや潤いを創出し、多くの人でにぎわう水の都を再生します。



戦略
06

STRATEGY

四季折々の美しい緑と水を
編み込んだ都市の構築

取組1 INITIATIVE

水辺に顔を向けた まちづくりを推進する

水辺の軸が都市の
魅力を高めている

- 水辺と一体となったまちづくりを進めていくエリアや舟旅の活性化を図るルートなど、ポテンシャルを生かした都市づくりを進め、魅力のある水辺の形成を図ります。
- 水辺の軸の形成に向けた考え方を「東京が新たに進めるみどりの取組(仮称)」等で示し、都市開発諸制度等を活用することで、水辺と一体となったまちづくりを推進します。
- まちづくりと連携した河川の再整備や沿川と一体となった河川整備を進めるとともに、民間主体の持続的にぎわいづくりを誘導する取組を進めます。
- 住宅市街地等においては、区市町村が中心となって水辺に顔を向けた建築物の配置や水辺の緑とつながる敷地内の緑化を推進し、水辺の潤いと緑の豊かさを一体的に向上させます。

水辺と一体となったまちづくりの例



品川区 天王洲

河川・運河沿いがにぎわいと 憩いの空間になっている

- 開発の機会等を捉え、水辺沿いのオープンスペースや連続する緑地を確保するとともに、にぎわい施設を誘導するなど、移動性や回遊性の高い親水拠点の形成を図ります。
- 首都高速道路の大規模更新と日本橋周辺のまちづくりの機会を捉え、連携して首都高速道路の地下化や水辺のにぎわい創出などに取り組むことにより、国際金融都市にふさわしい品格ある都市景観の形成、歴史・文化を踏まえた日本橋の顔づくり、沿道環境の改善を図ります。
- 水辺沿いのオープンスペース等を活用したエリアマネジメントなどのまちづくり活動を支援し、水辺空間とまちの一体的な利用を促進します。
- スーパー堤防やテラス整備による水辺空間について、地域や民間が主体となったにぎわいの場としての活用を促進します。

日本橋と首都高速道路

(首都高速道路建設以前(昭和31年))



(現在)



(画像提供) 中央区京橋図書館



プロジェクト型の都市づくりのイメージ

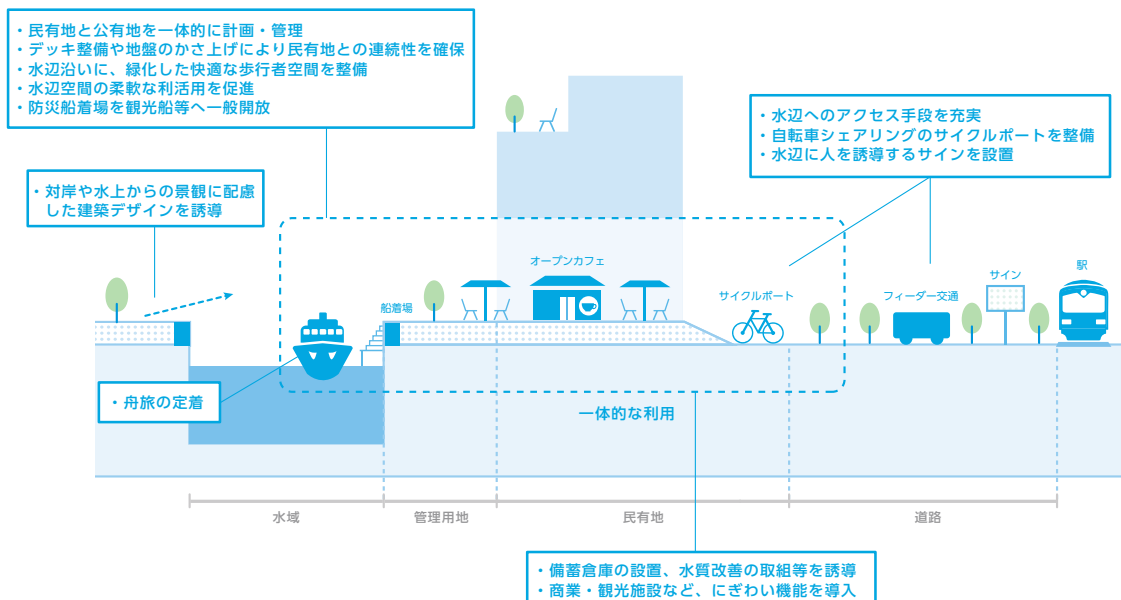
複数の戦略や政策方針にまたがる分野横断的な課題を同時に解決できるようなテーマについて、様々なプロジェクトとして取り組みます。

水辺に顔を向けたまちづくり

東京は河川、運河などの豊富な水に囲まれた都市であり、その資源を最大限に活かしていくことが重要です。

今後は、地域に応じた親水型のまちづくり等によりゆとりや潤いの創出を図るとともに、世界を魅了する美しい風景を創出していきます。

水辺に顔を向けたまちづくりのイメージ



先進事例

- 水辺空間を生かしたオープンカフェ(台東区 隅田公園) (左)
- 運河沿いに文化拠点や商業施設が集積し、船着場が多数設置された街並み(オランダ アムステルダム) (右)



(画像提供) 台東区



(出典)「隅田川等における新たな水辺整備のあり方」
(平成26年 新たな水辺整備のあり方検討会)

プロジェクト型の都市づくりの詳細については第7章をご参照ください

取組2 INITIATIVE

観光や身近な移動としての 舟旅を定着させる

誰もが舟旅を楽しめる
舟運ネットワークが形成されている

- 舟旅の定着に向け、地元自治体や運航事業者と連携し、東京港と河川を結ぶ航路の充実を図ります。
- 防災船着場の整備と併せて、平時から利用のニーズが高い防災船着場については、民間の観光船等への一般開放を図り、舟旅の定着や水辺のにぎわい創出につなげていきます。

船着場周辺ににぎわいが
生まれている

- 駅から船着場までの分かりやすい案内誘導の実施を促進します。
- 船着場周辺のエリアマネジメント活動を促進しカフェやイベントなどによるにぎわいを創出します。
- 水辺沿いの建築物の更新等に併せ、自転車シェアリングのサイクルポート設置を誘導します。

取組3 INITIATIVE

まちに潤いを与える 水辺空間を形成する

水の都にふさわしい
きれいな川や海の水を取り戻している

- 合流式下水道*の改善により河川や海などへ放流される汚濁負荷量*を削減し、水質の改善を進めます(例:降雨初期の特に汚れた下水の貯留施設の整備)。
- 水再生センター*で高度処理*・準高度処理*施設の導入を進め、放流される下水処理水の水質をより一層改善します。
- 清流復活の取組や底泥のしゅんせつ*、水面清掃による河川の水辺環境の改善や、開発の機会を捉えたお濠や池などの良好な水辺への再生に向けた取組を、区市町村等と連携し計画的に進めます。

都市のいたる所で
水の流れを感じられる

- 区市町村等と連携し、開発や公園整備などの機会を捉え、かつての水辺環境も意識しながらせらぎ水路等の水辺空間の整備を促進します。

環境整備後の渋谷川のイメージ



渋谷区 (画像提供)東京急行電鉄株式会社